



大洲市に 移住して 約半年間

大洲市の土地に触れ、
大洲市の農業の現状を見て、
自分の理想とする姿を模索してきました。
住みたい土地・やりたい農業に向けて、
これからの半年間は行動していきます。



【連絡先】

大洲市 農業振興課

地域おこし協力隊 稲田 侑治

Tel : 0893-24-1727

メール : yuji.inada@city.ozu.ehime.jp

地域おこし協力隊活動の軌跡

7月1日 地域おこし協力隊 入隊～

7月 先輩協力隊活動視察・農地確認



7月は、林業部門の現役協力隊員と一緒に竹林整備を行ったほか、協力隊OGの民宿の改装お手伝い、地域の農地訪問など、大洲市の農業や協力隊の現状を知りました。

8月 大洲いもたき初煮会へ参加



大洲市の郷土料理「いもたき」のイベントである「初煮会」に参加。大洲農業高校の生徒たちと大洲市の青年農業者の方々と一緒に「いもたき」を作り、販売を行いました。

9月 緑地公園草刈りに参加



刈払い機の講習を受けて、緑地公園の草刈り作業に参加しました。西条市への視察研修や6次産業化研修にも参加し、知見を広げる良い期間となりました。

10月 大洲産業フェスタ参加・農家さんの元で研修



大洲産業フェスタ2025にアグルビト(大洲青年農業者協議会)の事務局として参加をしました。販売した大洲産レンコンで作った「フライドレンコン」はほぼ完売するほど盛況で、充実したイベントとなりました。

栗農家さんの元で、収穫体験をさせていただきました。普段、農家の方々がどのような作業をされているのを知り、学ぶの多い体験となりました。農家さんの日々の工夫や作業の流れなど、学びの多い体験となりました。お忙しい中、貴重な体験をさせていただきました、ありがとうございました。



11月 中山間地域の現地確認・チューリップ定植



中山間地域等直接支払制度の現地確認に同行させていただきました。農地の条件としては不利な場所とされていますが、中山間地域は空気や景観が良くて、農地を守っている方々の苦勞と工夫が感じられました。

フラワーパークおおずにてチューリップ定植作業に参加させていただきました。毎年、チューリップやコスモスなど季節ごとにその時期の花が植えられているので、花が咲く季節には、ぜひ多くの方にご来場いただければと思います。



12月 河辺子ども教室開催



大洲市河辺地区にて「子ども教室」を開催しました。
 現在の河辺地区には、小学生が2人と、幼稚園児が1人しかおらず、より多くの体験や交流をさせたいという地域の方からの要望もあり、地域おこし協力隊の隊員が、それぞれの特性を活かしたイベントやワークショップを開催してきました。
 今回は、農に関わることとして、「野菜ランチョンマット作り体験」を行いました。子どもたちの発想が面白く、各個性を活かしたランチョンマットが出来上がりました。

1月 人参農家での研修



人参農家さんの元で種まき、トンネル張り、雑草除去、収穫など様々な農作業の体験を勉強させていただきました。
 栽培場所により収穫したときの人参に違いが出ていて、学びの多い体験でした。

2月 有機栽培農家での研修



有機栽培による多品目栽培をされている農家さんの元で、様々な野菜に触れさせていただきました。
 今まで知らなかった面白い野菜にも出会うことができました。
 有機栽培は奥が深く、まだまだ学ぶことがたくさんありますね。

大洲市の魅力について

大洲市は、盆地特有の霧が発生しやすいことや一級河川である「肱川(ひじかわ)」が市の中心を流れていることなど「海」「山」「川」の自然と街との距離が近い地域です。

それら様々な自然の恵みを受けて多種多様な品目の作物が栽培されています。

特に、「イチゴ」「キュウリ」「トマト」「スイカ」「ハクサイ」「カボチャ」「ナス」「サトイモ」の8品目は指定作物・地域振興作物となっています。



協力隊活動の今後の計画

01

～ R 8.7
農地を決める



農地選択

今まで見てきた大洲市の農業や、受けてきた研修から、自身でやってみたい農業や農地を絞っていく。観光農園を開園するのに適した土地や、都市部からのアクセスの良さ、広さ、土壌などをもとに決定。

02

～ R 9.7
栽培作物を決める



作物選定

決まった農地にて土壌分析をして、栽培可能な品目を決定。栽培スケジュールを立てつつ、栽培品目の研修を受けたり、農地見学を通して栽培技術も習得していく。

03

～ R 10.7
引っ越し・農地準備



移住・準備

農地からさほど遠くない地域へ居住を移し、新規就農の準備を進める。引き続き研修を受けつつ、決定した農地の整備・栽培作物の定植など、新規就農の準備を進める。

04

R 10.7～
新規就農する



新規就農
就農開始

地域おこし協力隊を退任後、新規就農をスタートさせる。新規就農後5年間を目途に、観光農園をスタートする予定。

「後継者を探している」「耕作放棄地がある」「農地を貸したい」
何か情報がありましたら、表紙の連絡先までご連絡ください。

<現在の協力隊員について>

- R6.1～ 中村 佑太 (農業)
- R6.8～ 川崎 倫央 (林業)
- R7.6～ 山根 雄三 (商工)
- R7.7～ 稲田 侑治 (農業)
- R7.10～ 濱田 美穂 (長浜)

現在、新しい大洲市地域おこし協力隊を募集中です。詳しくは記載の二次元コードからご確認ください。
また、大洲市地域おこし協力隊のInstagramでは、各隊員たちの日々の活動やイベント情報などを発信していますのでそちらもぜひご確認ください。

大洲市地域おこし協力隊の紹介

大洲市では、令和6年度に2人、令和7年度に3人の協力隊員が着任しており、合計5人が活動しています。活動場所や活動内容はそれぞれ異なりますが、それぞれの個性を活かしていただけるように、市役所の担当者の方と連携して、地域活動に励んでいます。
各隊員は、年齢も経歴もバラバラですが、皆さん年々、大洲市の雰囲気馴染んでいっているように思います。

大洲市地域おこし
協力隊の現状

大洲市地域おこし協力隊の

募集について(大洲市HP)→



大洲市地域おこし協力隊の

活動について(Instagram)→

